

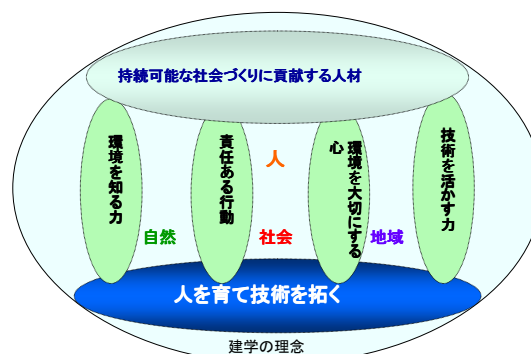
地球を守る、未来を創る

人を育て技術を拓く 環境ESDプログラム

地域教育のネットワークと地域自然環境を利用した実践的環境共生教育

西日本工業大学 工学部

育成する人材像



環境人の育成

- ①人間と環境との関わりや環境に関連する人間と人間との関わりを通して、高い環境保全意識と環境共生に関する基礎知識を有する人材。**(環境を知る心)**
- ②倫理観に支えられたコンプライアンス意識を有し、自らの責任ある行動を持って持続可能な社会づくりに参画できる人材。**(責任ある行動)**
- ③人としての豊かさを備え、自然を楽しみ、魅力を発信できる人材。**(環境を大切に作る心)**
- ④環境問題を客観的かつ公平な態度でとらえ、環境共生の理解を踏まえてものづくりに取り組む人材。**(技術を活かす力)**

取り組みの概要

本学のモットーである「人を育て技術を拓く」を具体化する

- 人間形成支援教育と実践的技術者教育を推進する
- 豊かな人間性に支えられた持続可能な社会づくりに貢献できる技術者の育成
- 地域をリードする環境ESDコーディネーターを養成

本プログラムの最大の特徴

- 実績に基づく小中高専大の「地域教育ネットワーク」を基盤
- 本学の環境教育研究施設を整備
- 地域教育力、地域自然環境を活用した、**児童生徒等との拠点施設地域連携体験学習を含む実践的環境共生教育**

地域環境の保全と創出・環境魅力発見教育として地域に大きく貢献できる。

本学の環境教育研究施設

岩岳川河川研究所



実験河川を活用

小石が多いのがこの地域の河川の特徴



選定理由

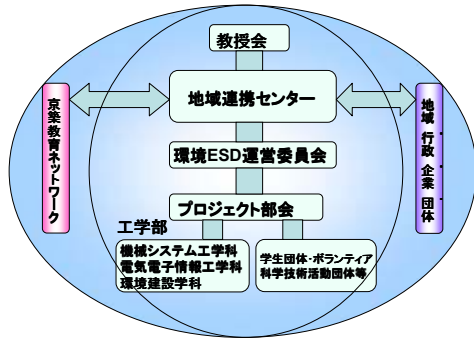
本取組は、京築地域の自然・社会（産業）環境に立脚する大学が、その教育理念のもとに行われる人間形成支援教育と実践的技術者教育を通じて持続可能な社会づくりに貢献できる環境教育プログラムを構築しています。

特に環境ESDコーディネーター育成プログラムは、基礎知識講座、応用的講座（実践）、発展的講座（地域連携）の講義・演習・現地実習と構成され、実践的技術者養成に向けて地域と連携された内容は、今後の環境教育プログラムの新たな展開に寄与できるなど他大学に示唆するものと評価します。

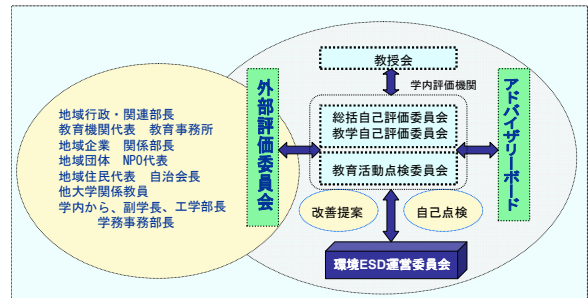
また地元の小中高등학교や自治体等との協力関係には十分な実績を持っておりカリキュラムや学生の管理などについても具体的に示されていることから、実現可能性は高いものと判断できます。

今後は、小中高専大の地域教育ネットワークや、行政、企業、団体等の継続的・組織的連携を充実し、地域の環境教育拠点として大学を位置づけ、地域における魅力創出による新しい環境教育の展開を期待いたします。

運営組織



評価体制と外部評価委員会の構成



育成する人材像	()は単位数		
	基礎知識講座 講義(10)	応用的講座 実習・演習(3)	発展的講座 地域連携(3)
①環境を知る力 キャリアデザインⅠ(1) キャリアデザインⅡ(1)	環境学概論(2)	地域魅力創出演習(1) 自然、歴史・文化、産業、暮らし 環境調査、GISマップ	環境学習会(1) セミナーハウス(海) 岩岳川河川研究所(山) 実験河川(川) 環境魅力発見講座
②責任ある行動	環境と企業(2) 環境と法(2)	コンプライアンス演習(1) PL法、消費者保護センター 廃棄物処理清掃法、工場見学	環境と遊び(1) ジュニアエコフエア 学生調査報告会 セミナー
③環境を大切にできる心	環境と情報(2) 環境デザイン(2)	環境と遊び(1) 水車作り、ささ舟 生物観察・魚道、気球観察 石組み河道	連携事業Ⅰ(1) 企業連携講座 シンポジウム
④技術を活かす力	環境と技術(2) 資源エネルギー(2)	ものづくり演習(1) 自然エネルギー利用 地域資源活用 自然環境利用ものづくり エコプラント、リサイクル	連携事業Ⅱ(1) 環境ボランティア活動(1) 地域連携ボランティア
対象者	工学部全学生 環境ESDプログラム履修者		

○基礎知識講座は、正課の科目でもある。
○応用的講座の各科目は、学部共通正課科目のプロジェクトⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの単位として認
○発展的講座の各科目は、正課の科目の自主研究の単位として認定する。

環境ESDカリキュラム

	1年次		2年次	
	前期	後期	前期	後期
基礎知識講座	キャリアデザインⅠ①	キャリアデザインⅡ①		
講義⑩		環境学概論②	環境と企業②	環境と法②
	環境と情報②		環境デザイン②	
応用的講座	ものづくり演習①		コンプライアンス演習①	資源エネルギー②
	環境と遊び①		地域魅力創演習①	
発展的講座	環境学習会①			
	連携事業Ⅰ①			
	連携事業Ⅱ①			
	環境ボランティア活動①(経験等の単位認定)			

○囲み数字は単位数

環境ESDものづくり演習 I
水車の製作 講師 野瀬秀拓(水車技師)



水車を動かして



「水辺の環境学習会」について

2007-08-03 (金)



「水辺の環境学習会」を行いました。大学の学生をはじめ、地元の小学生や高校生が参加し、海や川の観察や遊びを通して、地域の環境への理解を深め、環境の大切さを理解してもらうことを目的

2007京築地区
ジュニアサイエンスフェア開催



家庭用廃油を活用して石鹸を作ったり、壊れたおもちゃを皆で直したり、楽しい体験をしました。

環境教育推進 人材認定等事業への申請

環境ESDコーディネーター 認定事業への申請

大学が資格を認定
事業を国が認定

<関連法令>

- ◆環境の保全のための普及啓発及び環境教育の推進に関する法律(平成15年法律第130号)(以下「環境保全活動・環境教育推進法」という。)
第11条～第16条、第26条～第28条
- ◆人材認定等事業に係る登録に関する省令(平成16年文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省合第1号)(以下「省令」という。)

<人材認定等事業の事業実施関係の概要図>



取組の特色

小中高専大教育ネットワーク

地域教育機関の連携プログラム

環境魅力発見教育

自然・産業・暮らし等地域貢献プログラム

拠点施設連携教育

協同整備の実験河川利用教育など

地域連携による総合的取組

基礎、応用、発展的な三段階プログラム

東アジア環境ESD未来フォーラム開催企画

- 次世代を担う日本と中国の若者による、持続可能な社会につながる環境システムの構築と東アジア地域の新しい関係を考慮し行動を目的として、「第1回東アジア環境ESD未来フォーラム」を開催いたします。グローバル化する環境問題への実践的な取組をテーマに現地教育・研究機関と連携したパネルディスカッションと若者による環境保全のための行動

東アジア環境ESD未来フォーラム開催2

- 事業の概略
- 主催：西日本工業大学 工学部 環境ESD教育推進委員会
- 共催：中国、韓国各大学
- 後援：JETRO上海・センター
在上海日本国総領事館
北九州市環境局
行橋市、苅田町など
京築教育ネットワーク